

# 事業活動の報告

## ■ 街頭啓発活動（男女共同参画推進週間）

男女共同参画推進週間（6月23日～29日）に向けて甲府駅前にて街頭啓発運動を行った。

日 時：平成30年6月22日（金） 7:45～8:20

場 所：甲府駅（南口・北口）

参加者：市長・市民部長・市民協働室長・人権男女参画課 5名、甲府市男女共同参画推進委員 19名

配布部数：800部

配布物：トワ・エ・モア（甲府市男女共同参画情報誌）／男女共同参画パンフレット／都市宣言カード／ポケットティッシュ



## ■ 街頭啓発活動（DV防止週間）

DV防止の市民意識を高めるために国の「女性に対する暴力をなくす運動」期間（11月12日～25日）の初日に甲府市とともに甲府駅前パンフレットを配布した。甲府市役所本庁舎1Fに結び木を設置し、賛同者にDV防止のシンボルであるパープルリボンを掛けていただいた。

日 時：平成30年11月12日（月） 7:30～8:20

場 所：甲府駅（南口・北口）

参加者：市長・市民部長・市民協働室長・人権男女参画課 5名、甲府市男女共同参画推進委員 15名

配布部数：800部

配布物：トワ・エ・モア（甲府市男女共同参画情報誌）／STOPDV・デートDVパンフレット／『デートDV』…これって愛？パンフレット／甲府市女性総合相談室カード／ポケットティッシュ



## ■「びゅあ総合フェスタ」

山梨県立男女共同参画推進センターびゅあ総合を会場として開催されているびゅあ総合フェスタにて、活動のパネル展示と地域活動発表としてパフォーマンスを行った。

### 【平成30年度】

日 時：平成30年9月8日（土） 13:00～14:00

参加者：一般（38名） 甲府市男女共同参画推進委員（16名）

発表内容：『ジェンダーに敏感な視点で日常を見る part 2』

#### ～参加者の声～

- ・とても多様なケースが盛り込まれていて、わかりやすくて良かった。
- ・もったいないので寸劇にして、各所・各団体への出張発表をおすすめします。
- ・ものわかりがよすぎる理想の家族だ。もう一つの家族との対比もあれば面白いと思う。
- ・ジェンダーについて各箇所でもう少し掘り下げて良かったのではないかな。



### 【平成31年度】

日 時：令和元年9月7日（土） 13:30～15:30

参加者：一般（31名） 甲府市男女共同参画推進委員（9名）

発表内容：『ワーク・ライフ・バランス～甲府太郎君の日常～』



エンタ君

#### ～参加者の声～

- ・ダンボールを使ったエンタ君は参加者の距離を近くし、友の輪を作りやすく話しやすかった。
- ・司会の巧みなリードで多くの人と意見交換ができ、対話を楽しむことができた。
- ・びゅあ総合フェスタは今後も各市町村の推進委員の発表、学びの場として参加したい。
- ・甲府市・笛吹市ともパフォーマンスは、ごくある日常会話でわかりやすくて良かった。





## ■「甲府大好きまつり」

毎年行われている甲府大好きまつりにて甲府市男女共同参画推進委員会の周知と、男女共同参画推進活動を行うため出展し、啓発活動を行った。

### 【平成30年度】

日 時：平成30年10月27日（土）

開催場所：小瀬スポーツ公園

実施内容：1. アンケート調査

2. シール投票（テント内にボードを設置）

3. くじ引き

4. 景品、資料配付

目 的：男女共同参画に関するシンボルマークの認知度を知る。DVに関するアンケートを実施することで、理解度の調査をするとともにDVの知識の向上と周知を図る。双方、1年前の結果と比較して、変化を確認する。

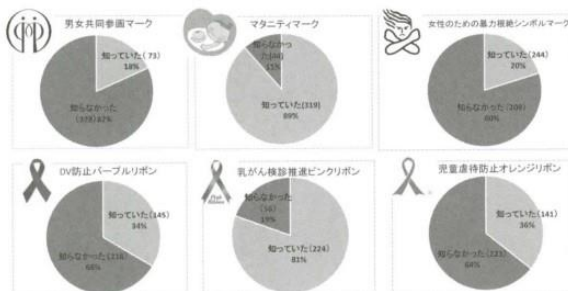
配布物：ふえあねす／STOPDV・デートDV／甲府市女性総合相談カード／マークの解説／パネル展チラシ

配布数：400部 回答数：388名



### このマークの意味を知っていますか？

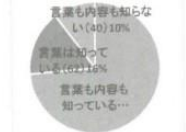
～シンボルマークアンケート集計結果～



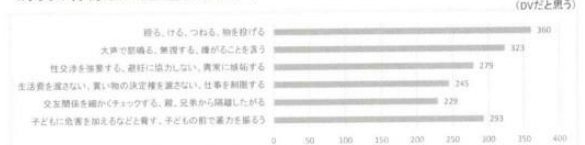
### DVに関するアンケート集計結果

Q、DV（ドメスティックバイオレンス＝配偶者や恋人等の親しい人間関係間の暴力）について知っていますか？

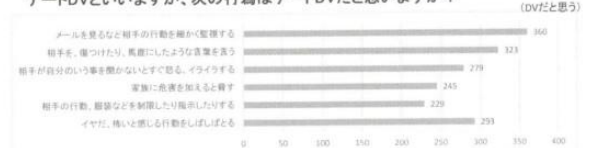
- 言葉もその内容も知っている。(285)
- 言葉は知っているがその内容は知らない。(62)
- 言葉もその内容も知らなかった。(40)



Q、次の行為はDVだと思いますか？

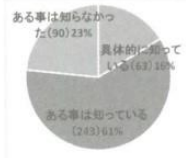


Q、高校生や大学生等、「交際相手（恋人）からの暴力」がおきています。これをデートDVといいますが、次の行為はデートDVだと思いますか？



Q、DV・デートDVに関する様々な相談窓口があることを知っていますか？

- 相談窓口の具体的な名前まで知っている (63)
- 相談窓口があることは知っている (243)
- 相談窓口があることは知らなかった (90)



### ～1年前の結果と比較して～

マークの認知度は全体的に少しずつ低下するという残念な結果になった。認知度の上昇には一層の努力と工夫が必要と考えられる。DV、デートDV共に全ての項目で5%以上認知度が上昇しており、DVの認識は浸透しつつある模様。

## ■「パネル展」

甲府市男女共同参画推進委員会の活動を知ってもらうことや男女共同参画の推進を図るため、また、女性の人権を侵害するDV防止の啓発も盛り込み、パネル展を開催した。2日間「ジェンダーに敏感な視点で日常を見る」のパフォーマンスを行なった。

開催期間：平成30年12月10日（月）～12月13日（木）

場 所：甲府市役所本庁舎 1階 市民活動室

展示パネル：

①男女共同参画啓発パネル

基本理念、都市宣言文、宣言文クイズ、内閣府政治参画マップ、川柳入選作品等

②推進委員会活動パネル

推進委員会活動のあゆみ、広報活動、街頭啓発（男女共同参画推進週間・DV防止週間）、起業ロールモデルセミナー 等

③研修報告パネル

NWEC参加報告、「ジェンダーに敏感な視点で日常を見る」紙芝居、日本女性会議（2016秋田 2017とまこまい）

参加委員：23名

来場者数：12月10日（月）	94名	12月11日（火）	34名	
12月12日（水）	67名	12月13日（木）	45名	合計 240名

～参加者の声～

- ・場所が市役所で一番人が通らない通路にあるため、一生懸命制作したのに残念だった。
- ・「ジェンダーに敏感な視点で日常を見る」を多くの人に見てもらって良かった。
- ・パネルが多くあり、ためになる情報が入っているのに、丁寧に読む人は少なかった。
- ・素晴らしいパネルも多かったため、数を精査して常時展示できればと思います。





## ■ ①学習会 (男女共同参画基礎講座) 「男女共同参画の基礎と社会的効果」



「男女平等」「参画」「個人のエンパワーメント」の実現を目指すのが男女共同参画。具体的には女性にとって働きやすい職場や暮らしやすい社会、すなわち男性にとっても働きやすい職場や暮らしやすい社会の実現を目指すのが男女共同参画。その効果は経済の発展や社会の進展、持続可能な発達をもたらすものである。その男女共同参画社会の実現に法律がどう関わるかについてもお話しいただきました。

日 時：令和元年5月8日(水) 14:00～15:00

会 場：甲府市役所本庁舎8階会議室

講 師：山内 幸雄

(憲法学者・前甲府市男女共同参画審議会会長・山梨大学非常勤講師)

### ～参加者の声～

- ・男女共同参画のベースとなる考え方、男女共同参画が目指す社会、男女共同参画の効果、効能、男女共同参画推進活動の方向という参画の基礎は人間が生活していること全ての問題ということに興味を持ち、感じるものがありました。
- ・裁判に勝利すると、日本全体が変わっていくというところに興味を持ちました。男女共同参画の活動が活きるように頑張りたいです。
- ・男女共同参画の基礎について詳しく学ぶことができました。委員になって一年ですがこのような学習会があると理解が深まります。
- ・男女共同参画の基礎、三つはわかりました。これからの参画の進め方、目指す参画、プランなど理解できました。

## ■ ②学習会 (被害者支援を通じて思うこと)

被害者支援にあたる女性警部補から、犯罪解決の努力と犯罪被害者にプレッシャーやトラウマを与えないようにする努力のバランスの難しさや、犯罪被害者の経験する苦しさについてお話しいただきました。

日 時：令和元年7月3日(水) 13:30～15:30

会 場：甲府市役所本庁舎8階会議室

講 師：小林 晴子(山梨県警甲府警察署警部補)



### ～参加者の声～

- ・被害者支援センターの存在を認識できた。
- ・通報する勇気が救える命もあると理解できた。
- ・被害者の抱える問題とその対応方法の学習は意義が大きい。被害者を励まそうと「辛いのはあなただけではない」と声を掛けることで被害者に無理に我慢させる結果になる場合もあり、安易な言葉掛けは被害者を苦しめることに繋がりがねないと学べた。
- ・女性の性犯罪被害者にとっては女性警察官が対応することがセカンドレイプ(事件当時の状況を男性に口頭説明することで事件に再度晒されているような心理状態になること)を避ける上でも非常に重要と理解できた。

## ■「ロールモデルセミナー」活躍している女性に続け ～働くことが好きになる～

女性の活躍を推進するため、市内で活躍している女性2名を招き、セミナーを開催し、自分らしく働くためのお話をさせていただきました。

日 時：令和元年8月7日(水) 18:00～20:00

場 所：甲府市役所本庁舎6階

参加者：一般(53名) 甲府市男女共同参画推進委員(20名)



講 師：井尻 真理子 (株)ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ勤務

- ・2002年にVF甲府に入社
- ・企画運営等で企業の発展に貢献。業務に役立つ資格取得にもチャレンジしながら活躍中。
- ・現在は甲府市男女共同参画推進委員や社会福祉活動等に積極的に参加、ヴァンフォーレ甲府だけでなく、山梨の発展のために活動を広げている。

講 師：落合 洋子 農業

- ・埼玉県出身3人の息子の母
- ・実家が甲府市で農業を営む男性と結婚し甲府に移住、未経験ながら農業に携わる。
- ・現在農業の傍ら甲府市の農業委員や地域活動、地域の情報誌の編集長として制作発行に携わるとともに、将来の農業について新規就農者の支援にも積極的に取り組んでいる。



### ～参加者の声～

- ・各ロールモデルに触れることで次世代を見つめ育てようとする女性の存在を感じることができた。時代の移り変わりとともに働く人々を取り巻く環境がより改善されていくはずだと感じた。好奇心と学び続ける姿勢が素晴らしいです。
- ・井尻さんの仕事から人への繋がり、何かをする事には必ずどこかで意味があることに気づくというのは素晴らしい言葉でした。落合さんのキャバ、限界を決めない事というのは素晴らしいと思いました。
- ・「やってやれないことはない」の大切さを学びました。
- ・自分がやってみたいことは勿論、新しいことに挑戦して行くことによって、幅が広がることがわかりました。自分の進路に向けて見つめ直すきっかけともなりました。チャレンジ精神を持ち努力していきたいと思えます。
- ・「ロールモデル」という言葉の印象で自分とはかけ離れた人だと思っていたが、お話を聞くと、普通に生きてきた女性が自分の可能性にかけて生きているんだなと、とても身近な存在に感じた。
- ・今色々なことにチャレンジしようとしている自分に勇気もらいました。今回の講座がとても心に響きました。
- ・なんでも気持ちがあれば可能であるとわかりました。視点を変えると見えてくることもあると思いました。





## ■「2019年度NWEC男女共同参画推進フォーラム」ワークショップ開催

第6期2年目の推進活動として、全国の男女共同参画推進関係者が集まる男女共同参画推進フォーラムに参加し、「ジェンダーに敏感な視点で日常を見る Part2～結婚・自治会デビュー編～」をもとに、甲府市男女共同参画推進委員会としてワークショップを開催した。

日 時：令和元年8月30日（金）15：30～17：30

場 所：独立行政法人国立女性教育会館（NWEC）埼玉県比企郡嵐山町

参加者：一般（30名） 甲府市男女共同参画推進委員（12名） 甲府市人権男女参画課（4名）

参加者年齢層：

40代以下 41%（うち20代以下 3名） 50代以上 59%（最多は60代 7名）

参加者の都道府県名：

山梨県（甲斐市、笛吹市、山梨市、忍野村）、北海道、秋田県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、滋賀県、三重県、石川県、福岡県、沖縄県からの参加者があった。

配布物：プログラム／シナリオふえあねす／甲府市観光パンフレット／女性会議チラシ／ボールペン／アンケート

～参加者の声～

- ・世代間の違いや地域性など様々な中で生活するための知恵が得られた。
- ・紙芝居を見て、日常のハラスメントの経験に気づくことができた。
- ・時間設定をもう少しわかりやすく伝えて貰えると取り組みやすい。
- ・「ジェンダーに敏感な視点で日常を見る」のこれからのストーリーも楽しみです。
- ・大変有意義なワークショップで、推進委員さんに男性が多く期待できます。
- ・若い人や他県の人と交流ができ楽しく話げできた。
- ・推進委員さんのチームワークがすごいですね、紙芝居、是非ともいろいろなところに普及させてください。
- ・日本女性会議頑張ってください。



## ■ 出前講座

ジェンダーバイアスの気づきを促す物語「ジェンダーに敏感な視点で日常を見るPart2～結婚・自治会デビュー編」を三文会にて、Part1をいきいきサロンにて上演し、参加者と問題点を一緒に考えたり、ジェンダーバイアスの経験を語り合ったり、今後を考えたりする出前講座を開催した。

### ①甲府エリア有志市民朝の勉強会 得々三文会にて

日 時：令和元年11月12日（火）7:00～8:00

場 所：春光堂書店（甲府市中央）

参加者：男女共同参画推進員 7名、事務局 3名、  
一般参加者 27名（男女比およそ半々、20代～80代）



#### ～参加者の声～

- ・特に中高生に聞かせたい。これから大人になるにつれてどのようにしたら良いかを考えてもらう上で必要な内容。小中高の学校での開催が実現しますように。
- ・自治会活動とジェンダーバイアスの関係が興味深かった。高齢化で役員のなり手がいない自治会活動にも女性の活躍が期待される。
- ・女性の家庭内での働きを過小評価しすぎに感じられる点が気になる。家事も大切な仕事だと伝える内容も含めて欲しい。
- ・マイノリティー（＝性的少数者）や在日外国人に対する無意識の差別について考える内容も入れて欲しい。
- ・出前講座は日常に潜む問題を考え直す素晴らしい企画、様々な場所での開催を望みます。
- ・上演後の会場の皆さんの過去の経験や見聞のシェアで「文章上は変化しているが暗黙の了解で（圧力で）実際はこうなっている」という言葉が多かった点にまだまだこれからやるべきことがあると感じた。

### ②下積いきいきサロン

日 時：令和元年11月19日（火）9:00～10:00

場 所：下積公民館（甲府市下積翠寺町）

参加者：男女共同参画推進委員 7名、事務局 2名、  
一般参加者 15名 全員女性70代が中心



#### ～参加者の声～

- ・今回のPart1だけでなくPart2も見たい。
- ・男性達にも聞いて欲しいので、女性参加者のみのいきいきサロンではなく、自治会単位で老若男女様々な人々が聞ける環境でもう一度開催して欲しい。

#### 〔推進委員の感想〕

NWECやぴゅあ総合フェスタのような男女共同参画に理解の深い人々が集まる場とは異なり、一般市民の皆さんに聞いて貰いジェンダーバイアスについて考えて貰う機会は、推進委員にとっても「ここが理解して貰いにくいポイントなのか」といった気づきがあり、貴重な学びになった。



## ■「甲府市男女共同参画フォーラム2019」

男女共同参画社会の実現を目指し、「甲府市男女共同参画フォーラム」が「女性達で創るマルシェ」との同時開催により開催されました。今年度は講師に社会学者上野千鶴子さんを招き、「女も男も働き方改革」と題して講演をしていただきました。

アトラクションに山梨学院高校吹奏楽部とチアリーダー部が華を添えました。

日 時：平成31年3月9日(土) 13:00～15:30

会 場：甲府市総合市民会館芸術ホール

来場者：370名

配布物：プログラム／ワーク・ライフ・バランスパンフレット／トワエモア／ふえあねす／アンケート／シャープペンシル（「男女共同参画都市甲府」表示入り）



講師：上野千鶴子  
(菅野 勝男 撮影)

### 甲府市男女共同参画 フォーラム2019

平成31年3月9日(土) 13:00～15:30  
甲府市総合市民会館 芸術ホール

プログラム

1. 開会セレモニー(13:00～13:30)
  - ＊主催者あいさつ
  - ＊来賓紹介
  - ＊川柳最優秀賞の表彰
  - ＊甲府市女性活躍推進優良事業者等の表彰
  - ＊男女共同参画都市宣言文の群読(参加者全員)
2. アトラクション(13:30～14:00)
  - ～山梨学院高等学校 吹奏楽部／チアリーダー部～
  - 休憩 —
3. 講演(14:10～15:30)
  - 「女も男も働き方改革」 講師：上野千鶴子さん
4. 閉会

主催 甲府市／甲府市男女共同参画推進委員会  
後援 甲府市自治会連合会／甲府市女性団体連絡協議会



「女性達で創るマルシェ」と同時開催



フォーラムに向けての準備



フォーラム終了後の記念撮影



2018年度活動報告



甲府市男女共同参画都市宣言文の群読



アトラクションの様子



パネル展示



講演の様子

### アンケート集計結果 (124名)

年齢：20歳未満 (10名) 20歳代 (1名) 30歳代 (4名) 40歳代 (13名)  
50歳代 (10名) 60歳代 (26名) 70歳代以上 (60名) 未回答 (1名)

住所：市内 (102名)

市外 (22名) 甲斐市・韮崎市・笛吹市・身延町・山梨市・千葉県柏市

◎本日のフォーラムを、どのようにしてお知りになりましたか？ (複数回答有)

広報こうふ・市ホームページ (31名) ・チラシ (20名) ・知人からの紹介 (33名)

新聞・テレビ・ラジオ等 (10名) ・自治会を通じて (18名)

その他 (20名) 所属団体・職場・facebook

◎講演「女も男も働き方改革」はいかがでしたか？

・大いに満足 (81名) ・やや満足 (28名) ・やや不満 (2名) ・大いに不満 (2名)

・回答なし (11名)

### ～参加者の声～

(講演について)

- ・講演はとても聞きやすくとても身に沁みて感じる事が多々あった。
- ・身近な問題を簡単に理解しやすい講演でよかった。またこのような機会がほしい。
- ・働き方について考える機会になった。
- ・講演後の質疑応答もフロアとのやり取りが中身のあるものでとてもよかった。

(フォーラムの感想・期待すること)

- ・各方面に動員をかけ、充実したフォーラムを期待する。
- ・企業や行政の管理職や男性の参加が必要。
- ・山梨学院高校生の目の覚めるような演技は、フォーラムに花を添えてくれた。
- ・毎年ご苦労様です。大切なフォーラムだと思う。



# 甲府市男女共同参画 フォーラム2020

令和2年2月29日(土)

甲府市総合市民会館

(甲府市青沼3-5-44)

入場無料

芸術ホール

○セレモニー(10:00~)

- \* 女性活躍推進優良事業者等の表彰
- \* 男女共同参画都市宣言文の群読

託児あり(10:40~12:40)  
先着順・要予約(2/14まで)



○推進委員会発表(10:25~)

- \* 甲府市男女共同参画推進委員会の活動報告
- \* 日本女性会議の紹介

○講演(10:55~12:30)

「未来を拓く 主役は私」

~女性活躍社会実現のために~

講師 木場 弘子 さん

フリーキャスター／千葉大学客員教授



山の都アリーナ

○女性達で創るマルシェ(11:00~16:00)

主催 甲府市／甲府市男女共同参画推進委員会

共催 NPO法人マンマメルカート

後援 甲府市自治会連合会／甲府市女性団体連絡協議会／テレビ山梨  
山梨日日新聞社・山梨放送／日本ネットワークサービス

お問い合わせ・託児予約

甲府市役所 人権男女参画課 TEL 237-5209

# 全国大会参加報告

## ■ 平成30年度 NWEC男女共同参画推進フォーラム (平成30年8月31日)

【特別講演】 すべての男女が活躍でき、働きやすく暮らしやすい社会を創る  
講師：国谷 裕子

前半はニュースキャスターとしてNHK報道番組「クローズアップ現代」に関わった仕事を振り返り女性が報道現場で仕事を続ける大変さと女性が働きやすい環境づくりのお話、後半はクローズアップ現代引退後普及に取り組んでいる2015年9月に国連サミットで採択されたSDGs (Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標) についての講演。



国立女性教育会館男女共同参画推進フォーラム報告実施報告書より引用  
[https://www.nwec.jp/event/training/g\\_forum2019.html](https://www.nwec.jp/event/training/g_forum2019.html)

【推進委員報告】 藤原 一三

テレビ画面の当時の講師の姿を思い浮かべつつ、男性中心のメディア界の中で認められたい一心で身を粉にして働いたという話に引き込まれた。意思決定に意見が反映されるのに必要な30%の壁を越えるため女性同士の横のつながりを意識して働いてきたこと、諦めず声をあげていくしか方法が無いこと、1人でも多くの共感者を見つける粘り強い取り組みが必要なこと。社会全体の意識を変える難しさを痛感した。

【推進委員報告】 阿部 誠

ワークショップ 防災減災に取り組む女性を育てる ～仙台・東京・福岡の実践から～

イコールネット仙台代表理事の宗方恵美子氏の司会で、東日本大震災後、防災減災に取り組む女性を育てる仙台・東京・福岡の事業の実践報告があった。東日本大震災を経験した声をもとに災害時に「欲しかったもの」「役に立ったもの」を紹介したパネル展『もしもの時に私に必要なものは何か』には、考えるヒントがたくさんあった。仕事をしたいのに子育てのために辞めずに済むよう、少しでもリーダー的役割に着いた女性は、他の女性を引き上げたり女性の力を生かすよう様々な仕組みを整備しようという動きで、男女平等な社会の建設を進めたいと改めて感じた。

## ■ 2019年度 NWEC男女共同参画推進フォーラム (令和元年8月30日)

【シンポジウム】 基本法から20年～今こそチャレンジ! 政治分野への女性の参画

前半は基本法策定に関わった東京大学名誉教授大沢真理氏による基本法成立以降のジェンダー平等関連政策の展開について解説、後半は意思決定の場における男女共同参画の現実について、上智大学法学部教授三浦まり氏、岐阜市女性センター係長河合覚子氏、朝日新聞社会部記者三島あずさ氏の対談、実践や体験を通して現状を語った。



国立女性教育会館男女共同参画推進フォーラム報告実施報告書より引用  
[https://www.nwec.jp/event/training/g\\_forum2018.html](https://www.nwec.jp/event/training/g_forum2018.html)

【推進委員報告】 小川 はるみ

女性議員の数を増やすことは大賛成だが、その実現に向けた意識改革や施策は未だ十分とは言えない。進まない理由は日本固有のジェンダーバイアスが一因で、法律はできてもクォータ制のような具体的なインセンティブや罰則が無ければ、実現は難しい。政治家になりたい人、ふさわしい人材の発掘が急務。まずは地域の代表から、市民委員も地方議員への第一歩ではないか。



## ■ 日本女性会議2018 in 金沢 (平成30年10月12日~14日)

10月12日 分科会7 (DV・ハラスメント)

#Me Too から#We Tooへ わたしたちはもう我慢しない

〔推進委員〕中村 京子

金沢での女性会議への参加を請われて、第7分科会講師コーディネーターの上野千鶴子氏は「私がお話を伺いたい3人が揃ってくださるならお受けします」とお返ししたのだそう。その3人とは、ご自身の性被害体験を実名顔出しで訴えたことが日本の#Me Too運動に大きく影響したジャーナリストの伊藤詩織さん、日本初のセクハラ裁判で被害者支援組織の代表として裁判に関わって以来セクハラをはじめとするジェンダー問題を専門とする大阪大学大学院社会学教授牟田和恵さん、ご自身が受けたマタニティーハラスメントをきっかけにマタハラ被害者支援組織を作った小酒部さやかさん。3人とも性差別に関わる実体験から社会の問題を語る話の密度がとてつもなく濃く、この分科会参加で本を何冊も読むのに匹敵する社会問題の闇の深さを知ったように思う。女性会議参加の大きな意義はこういう他では聞くことのできない切実な体験をした当事者や当事者支援に当たった方から直接生の声でリアルな話を聞けることだと再認識した。



### ● 第7分科会金沢大会の提言

- 1 あらゆる暴力、様々な性差別による暴力にNO!
- 2 人間の尊厳を傷つけられる性暴力、セクハラは元から断たなきゃダメ! 加害者にも被害者にも傍観者にもならないわたしたち。さあ、意識を変えよう! 一人一人の人権が真に尊重される社会を一緒に!
- 3 #Me Too声をあげていいんだ! 一人じゃないんだ、声を上げる勇気を、自分を信じ、誇りを持って生き延びよう! #We Too沈黙をしない! 無関心をやめよう! 孤立させない! 支えサポートする、さあ、行動を始めよう!

10月13日 記念講演「能の道を歩む」～私の生きがい～ 宝生流能楽師 松田 若子

〔推進委員〕小田切 進

記念講演にて昔からの伝統芸能の世界で女性が後継者になるのには女性であることをわすれて、例えば女性の役を演ずる時でも女性を忘れて男性として演じなければならぬという理不尽な現実と直面したのだという。

2018年8月にNWECフォーラムでお聞きしたニュースキャスター国谷裕子さんのクローズアップ現代を作り続けた体験もそういった面があった。社会の中で女性が認められるためには男性化しなければならない現実を見直し、女性も男性もその性的特性を生かして活躍できる社会をつくっていかねばならない。



## ■ 日本女性会議2019さの (台風19号による被害のため中止)

2019年10月12日に日本に上陸した超大型台風19号による河川氾濫被災地となったため、開催予定日1週間前に開催中止が決まりました。長い時間をかけて準備なされてきたであろうことを思うと誠に残念です。被災した佐野の皆さんの1日も早い復興を願っています。

## ■ 「日本女性会議2021 in 甲府」(令和3年10月22日～24日)に向けて

平成25年、甲府市議会にて「男女共同参画都市宣言」が承認された年、日本女性会議あなん大会に参加した当時の推進委員が「いつかは甲府でも日本女性会議を実現したい」と希望し、それは連綿として現在の推進委員へと受け継がれました。

第5期の終期、天野委員長を中心に日本女性会議誘致を現実とする胎動が始まり、多くの市議会議員のご理解も頂き、市長への「誘致に関する要望書」を提出させて頂きました。第6期の推進委員会が動き始めた平成30年6月には、定例市議会にて樋口市長より、2021年の開催都市に応募することが発表され、9月には山梨県内初めての「日本女性会議甲府大会」開催が正式決定されました。

甲府市男女共同参画推進委員会は2020年開催の刈谷市からタスキをつなぎ、全国から参集する参加者と共に男女共同参画社会の実現に向けて一歩前に進みたいと願います。

最後に私たち推進委員をここまで導いて頂いた山内幸雄先生、伏見正江先生に感謝申し上げますとともに、今後ともご指導賜りたいと存じます。

甲府市男女共同参画推進委員会 副委員長 小田切 進

